

高齢社会のケア

● 看護の日

○下○



専門看護師

徳島大学病院の外来化学療法室で勤務する三木幸代さん(50)は、病院内でただ一人の専門看護師だ。高水準の看護ケアを提供する専

門看護師は県内に3人。認定看護師は11あるが、3人はいずれも、がん看護分野で認定を取得している。

三木さんは2004年、

療法室で勤務する三木幸代さんは(50)は、病院内でただ一人の専門看護師だ。高水

準の看護ケアを提供する専門看護師は県内に3人。認定看護師は11あるが、3人はいずれも、がん看護分野で認定を取得している。

三木さんは2004年、薬治療を受けながらも症状

を自指して専門看護師に。「患者さんに対し、多角的な視点から専門的な知識を基づく説明ができるようになつた」と話す。

資格を取得したのは、化

学療法を受けていた白血病の男性患者との出会いがきっかけだった。強い抗がん剤治療を受けながらも症状

を自指して専門看護師に。「患者さんに対し、多角的な視点から専門的な知識を基づく説明ができるようになつた」と話す。

資格を取得したのは、化

学療法を受けていた白血病の男性患者との出会いがきっかけだった。自分なりに頑張って勉強したが限界を感じた」とは、がんの進行度によって

治療を受ける患者と、がんが進行・再発した患者とは、がんの進行度によって難しい。手術前の抗がん剤治療を受けた後、さらに専門看護師を目指し、徳島大学大学院保健

科学教育部で単位を取得。働きながら夜間に講義を受け、3年で認定を受けた。

「チーム医療」の

チーム医療の調整役

がん化学療法看護分野でのコントロールが難しい、薙痛を伴っていた。血液疾患のため、固形がんよりも抗がん剤の量が多く、副作用を伴っていた。

12年、より高い水準のケア

がん化学会議で、のコントロールが難しい、薙痛を伴っていた。血液疾患のため、固形がんよりも抗がん剤の量が多く、副作用を伴っていた。

12年、より高い水準のケア

がん化学会議で、のコントロールが難しい、薙痛を伴っていた。血液疾

患のため、固形がんよりも抗がん剤の量が多く、副作用を伴っていた。

12年、より高い水準のケア

がん化学会議で、のコントロールが難しい、薙痛を伴っていた。血液疾患のため、固形がんよりも抗がん剤の量が多く、副作用を伴っていた。

12年、より高い水準のケア

抗がん剤の点滴治療を補助する専門看護師の三木さん

さん

さん

さん

用も強く出していた。「かなり苦しそうだったんで、専門的な知識や技術があればもっとといいケアができるのではないかと考えた。自分なりに頑張って勉強したが限界を感じた」とは、がんの進行度によって難しい。手術前の抗がん剤治療を受けた後、さらに専門看護師を目指し、徳島大学大学院保健科学教育部で単位を取得。働きながら夜間に講義を受けていた。強いて言えるなら、いかに患者を支えていくのか。「研修で学んだことを生かせるように日々意識している」

専門看護師独自の役割として、エビデンス(科学的な根拠)の確立されていないケアを開拓することを挙げる。「患者やその家族に

看護を実践していくため」

副病院長(看護担当)の木田薫恵看護部長(55)は「専門性の高い看護師が多くなることにより、組織の看護の質が向上する。看護の仕事をより広く知つてもいいためにも、資格を取った看護師は病院内にいるま

らず、地域でより適應できるようになりたい」と話している。